



別海町立野付中学校 学校便り

親潮

令和4年12月23日発行 第12号

みんな、野付の子
さあ、つながろう！

- ◇あいさつのできる子
- ◇ルールや約束を守る子
- ◇思いやりのある子
- ◇失敗を恐れず挑戦する子

発行者

野付中学校 校長 小崎 伸人

ブログ <https://betsukai.ed.jp/school/snotuke/>



是々非々・是非・是が非でも

校長 小崎 伸人

日本語は難しく、面白い。そして美しい言語だと思っています。英語教師をしていて、英語のほとんどが日本語に変換できるのに対して、日本語のいくつかは一言では表現できないものもあります。東京オリンピック招致で話題となった「おもてなし」も近い言語として、**hospitality**（ホスピタリティ）という単語は存在しますが、元々は病院（**hospital**・ホスピタル）を意味する言葉から派生し「異なる場所から来た人を守る、接待する」という意味合いが強く、大きな意味としては「おもてなし」ですが、病院ということから考えると「接遇」が一番近い気がします。

同様に「生きがい」も英語にしにくい言葉です。これを一言で言い表す英語は見当たりません。なぜなら「生きがい」の一言だけで、自分の好きなこと、得意なこと、報酬、そして、社会貢献などすべてが含まれているからです。皆様の生きがいはなにかと問われたとき、なんと答えますか？

私自身が公的な文章でよく使うのが「是々非々」です。学校現場において…子どもたちの成長に寄り添うためにも教師がぶれてはならないと考えているからです。この言葉は善悪を判断する際に使われ、簡単に説明すると、良いは良い、ダメはダメという教師側の大事な心の持ちようを表しています。『是』にはプラスの、『非』にはマイナスの印象がありますが、思春期から青春期に向かう中学生たちは、『是』だけで100%構成されていることはあり得ません。多かれ少なかれ『非』の部分を持ち合わせています。大人になると、『非』の部分を経験や社会通念で補い、善悪を判断しながら行動できるようになります。

どんな生徒であっても心に『非』を持っていると理解している教師だからこそ、生徒たちには是々非々を考えさせます。しかし、それは生徒自身が『非』であるとは全く考えていません。

いわゆるモラルを身に付けさせるのが学校の役割の一つで、生徒個々が持つ人格を否定することは決してありません。失敗を重ねながら成長したのは我々大人も一緒ですし、失敗があっても成長に繋がっていくと経験上からも確信しています。ただし、これまでも何度かお話しした通り、学校という限られた場所だけで成長できるわけもなく、地域や保護者と三位一体となって育てることによって、より着実に、より確実になしえることだと強く思っています。人間は不完全な生き物です。一人きりで生きていくことなんてできません。ですからお互いが補い合って、支え合って社会が構成されています。これからの未来や地域を構成していく子どもたちの力を付けていくためにも、是非、協働していきましょう。

「是が非でも」の言い換えは「何が何でも」「正しくても、正しくなくても」となります。学校が是が非でも達成したいことは子どもたちの成長、未来創りをする人材の育成です。先行き不透明なこの時代、どんな2023年が、どんな未来が待っているかは分かりません。それを切り拓いていくのは今の子どもたちです。失敗があったならそれを糧に進めば良いのです。そして、成功体験をも繰り返しながら、一つ一つ成長を繰り返し、不安がることなく勇気を持って前に進む人となることを強く望んでいます。

今年もまた偉人が虹の橋を渡りました。「この道を行けばどうなるものか。危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ、行けばわかるさ。」という名言を残し。未来を創るのは子どもたち、未来が輝かしいものであることを教えるのが大人たち。来年がこのことを胸に共に進む1年になることを祈っています。是非、良い年をお迎えください。

12/1(木) 1学年 サケ・ホタテの調理実習 (野付学)

地元の食材を活かした調理について学ぶことを目的に、野付漁業組合女性部より7名の講師に本校いただき、サケとホタテの調理実習を行いました。ホタテごはん、サケのあら汁、ちゃんちゃん焼き、ホタテフライ…とたくさんのメニューでしたが、講師の方々の丁寧なご指導のもと、何とか献立を完成させることができました。子どもたちがご家庭でも、再度この献立にチャレンジしてくれたら嬉しいです。女性部7名の講師の皆様、ご協力ありがとうございました。



12/2(金) 2学年 まわしよみ新聞 (CSの取組)

CS学びの土台づくり部会のご協力のもと、まわしよみ新聞を実施しました。コロナ禍の影響で、数年ぶりに取り組むこととなりましたが、北海道新聞社みらい教育推進室より、講師の方が来校され、まわしよみ新聞の進め方を教えていただくとともに、取り組む上でコミュニケーションとチームワークが大切であることを学ばせていただきました。今回はCSや地域の方々のご協力を得ながら、小学校5年生と合同で行い、交流を深めながら1枚の壁新聞をつくりあげました。



12/8(木) 3学年 生と性の学習

別海町母子健康センターの助産師さんによる、生と性の学習「性感染症および予期せぬ妊娠」について授業を行いました。当日は上風連中、中西別中との合同オンライン授業となりましたが、画面を通じて、誰もが大切な存在であり、自分も相手も大事に接することの重要性について考えを深めることができた1時間でした。



12/15(木) 1学年 職業人講話 (CSの取組)

今年度もCSキャリア教育部会にご協力をいただき、6名の講師をお招きして、職業人講話を実施しました。4つのブースを生徒がローテーションする形式で行い、今年度は幼稚園教諭、漁師、塾講師、パティシエについてのお話に加え、挫折してもあきらめないで挑戦し続けること、趣味を楽しむために仕事を頑張ること、地域のために貢献する姿勢が大切であることなど、子どもたちの目標や夢の実現に向けて視野を広げることのできるありがたいお話を聞くことができました。



12/19(月) スマホ安全教室 (CSの取組)

CS学びの土台づくり部会主催により、「スマホ使用にあたって～ルールって本当に必要な?～」と題して、スマホ安全教室を開催しました。まだまだ社会経験が不十分な中学生にとって、スマホ使用にはルールが必要で、万が一トラブルへと発展した場合は相手と直接話し、それでも解決できない場合は大人を頼ることが大切であることを学びました。



～東部スケート大会中止について～

東部地区スケート大会が昨年度に引き続き、中止となりました。よって1月29日(日)は週休日となり、1月30日(月)は登校日となります。なお、中学校独自のスケート記録会を1月30日(月)午後より、長靴アイスホッケー大会を2月3日(金)午後より実施予定です。詳しい日程が決まり次第、改めてお知らせいたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

1月の行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	日	元日 学校閉庁日 冬季休業(16日まで)	17	火	3学期始業集会
2	月	週休日 学校閉庁日	18	水	PTA役員会 ALT来校 貯金日 会議日課
3	火	週休日 学校閉庁日	19	木	後期期末テスト(3年)
4	水	北海道ジュニアバレーボールキャンプ(男子・7日まで)	20	金	第3回英語検定
5	木		21	土	週休日 町内弁論大会
6	金		22	日	週休日
7	土	週休日	23	月	スケートチーム集会
8	日	週休日	24	火	朝会B 委員会
9	月	祝日(成人の日)	25	水	職員会議 発育測定(1年) QU(1・2年) ALT来校
10	火		26	木	発育測定(2年) 集金日 委員会レク
11	水		27	金	発育測定(3年) 白鳥号
12	木		28	土	週休日
13	金		29	日	週休日
14	土	週休日	30	月	スケート記録会
15	日	週休日	31	火	朝会C 教育相談(2/10まで)
16	月	冬季休業最終日 校内研修 幼小中交流研	冬季休業 12/24～ R5/1/16		

